

千葉市立青葉病院清掃業務委託 特記仕様書

業務内容

1 一般区域

病院内の一般区域を対象とする日常及び定期清掃を主な業務とし、施設の維持保存と損耗の防止、微生物による汚染、拡散の防止等を適合した技術によって処理し、常に良好な環境衛生の維持と美観を保持するとともに、院内感染の防止に努めること。

なお、清掃業務は別紙 1－3「清掃業務作業手順書」に従い実施し、必要があればその都度見なおすこと。

また、清掃業務従事者の人数については、発注者と協議の上、決定するが、原則として入札時に履行可能なことを証明するために提示した人数を下回ってはならない。ただし、業務履行状況に指摘事項などがない(品質確保がされている)場合は協議により人数を削減することができる。

(1) 日常清掃

月曜日から金曜日までを基準とし、毎日・週間単位で行う業務とし、別表 1－1「清掃作業基準表」に定める回数を最低限実施すること。また、土日祝日及び年末年始は簡易清掃とし、病棟のごみ回収・トイレ・洗面台の清掃を行うほか、人通りの多い廊下の清掃等、日常清掃の補完作業を行う。

なお、場所及び各諸室の環境に応じた区域ごとに作業方法を定め、実施するものとする。また、外来エリア等、感染症拡大防止対策が求められる区域については、アルコール消毒等を実施する。ごみの回収頻度については各場所のごみの発生状況に応じて協議の上、頻度を調整できるものとする。各区域については、病院清掃の基本となる清浄度クラスに準じるものとし、以下のとおりとする。

ア 一般区域(清浄度クラスⅣ)

外来診察室、処置室、一般病室等を対象とし、以下に示す基本事項を遵守し、清掃を行うこと。

なお、当該区域の清掃は、ダストコントロール(DCS)及び除菌清拭技術(MDS)を適用し、床面ワックス清拭を徹底し、清潔区域に準じる清潔さを保持すること。

イ 汚染拡散防止区域(清浄度クラスⅤ)

トイレ、浴室、汚物処理室、洗濯仕分け室、塵芥庫、感染性汚染物の回収場所等を対象とし、以下に示す基本事項を遵守し、清掃を行うこと。なお、当該区域は、院内感染リスクが高い場所であることから、DCS よりも MDS に重点を置き除菌処理を行うこと。

ウ その他の一般区域(清浄度クラスⅣ)

玄関、ホール、ラウンジ、待合スペース、エレベータホール、廊下、階段、踊り場、事務スペース、会議室、倉庫等を対象とする。なお、当該区域は、不特定多数の人が集まる場所であることから、直接的に手を触れる機会の多い箇所については重点的に除菌剤で清拭する。

(2) 定期清掃

定期清掃は、月間計画に基づき、以下に準じて床面の洗浄作業を行い、エリアごとに必要に応じて剥離洗浄及びワックス塗布作業を実施する。作業頻度については、別表 1－1「清掃作業基準表」に定める回数を基本とするが、汚染が顕著な箇所等があれば、適宜、回数を追加するなど、日常清掃と組み合わせて清潔な環境衛生を維持すること。

ア 床材別定期清掃作業

定期清掃作業は、床材により適切な手順で実施する。

イ ガラス清掃

事前に月間の作業計画表を提出の上、建物内外の窓ガラス清掃を実施する。作業にあたっては、事前に関係部署と協議の上、診療体制及び患者に迷惑がかからないように実施する。作業範囲は、別表 1－2「窓ガラス面積表」に示す面積(片面の概算面積)のガラスについて、両面を清掃する。

ウ 高所天井、壁面等清掃

高所天井、壁面及び照明器具・空調通風口・ブラインド・時計・額・カーテンレール・案内板・案内表示器・ガラス仕切り板・窓枠・扉上部、時間外入口日さし上部等、日常清掃で取りきれない汚れを計画的に順次実施する。

エ ベランダ、軒下及びピロティ、屋外出入口等

床（タイル、コンクリート等）、手摺りは、鳥の糞・埃・土砂・落葉・クモの巣等で見苦しい状態にならないよう適宜清掃する。また、天井面等の汚れを適宜清掃する。

オ 光庭、モニュメント及びデッキ

（３）塵芥収集運搬及び地下塵芥庫等の維持管理

月曜日から土曜日において、原則、午前中１回、午後１回の収集運搬を実施するものとするが、現場の状況により適宜行うこと。

なお、収集運搬時間は、発注者との協議による。

２ 清潔区域

病院内の清潔区域を対象とする日常及び定期清掃を主な業務とし、施設の維持保存と損耗の防止、微生物による汚染、拡散の防止等を適合した技術によって処理し、常に良好な環境衛生の維持と美観を保持するとともに、院内感染の防止に努めること。

なお、清掃業務は別紙 1-3「清掃業務作業手順書」に従い実施し、必要があればその都度見なおすこと。

（１）日常清掃

月曜日から金曜日までを基準とし、毎日・週間単位で行う業務とし、別表 1－1「清掃作業基準表」に定める回数を最低限実施すること。また、土日祝日及び年末年始は簡易清掃とし、病棟のごみ回収・トイレ・洗面台の清掃を行うほか、人通りの多い廊下の清掃等、日常清掃の補完作業を行う。また、感染症拡大防止対策が求められる区域については、アルコール消毒等を実施する。なお、高度清潔区域となる手術室及びその関連諸室については業務範囲外とする。

ア 清潔区域（清浄度クラスⅡ）

ＩＣＵ、ＨＣＵ、血液内科病室、無菌室、クリーンルーム、血管造影室等を対象とし、別紙 1－3「清掃業務作業手順書」に従い清掃を行うこと。なお、当該区域の清掃はダストコントロール（DCS）及び除菌清拭技術（MDS）を適用し、床面ワンパス清拭を徹底し清潔さを保持すること。

（２）定期清掃

定期清掃は、月間計画に基づき、以下に準じて床面の洗浄作業を行い、エリアごとに必要に応じて剥離洗浄及びワックス塗布作業を実施する。作業頻度については、別表 1－1「清掃作業基準表」に定める回数を基本とするが、汚染が顕著な箇所等があれば、適宜、回数を追加するなど、日常清掃と組み合わせて清潔な環境衛生を維持すること。

ア 床材別定期清掃作業

定期清掃作業は、床材により以下の内容及び手順で実施する。

イ ガラス清掃

事前に月間の作業計画表を提出のうえ、建物内外の窓ガラス清掃を実施する。作業にあたっては、事前に関係部署と協議のうえ、診療体制及び患者に迷惑がかからないように実施する。作業範囲は、別表 1－2「窓ガラス面積表」に示す面積（片面の概算面積）のガラスについて、両面を清掃する。

ウ 高所天井、壁面等清掃

高所天井、壁面及び照明器具・空調通風口・ブラインド・時計・額・カーテンレール・案内板・案内表示器・ガラス仕切り板・窓枠・扉上部、時間外入口日さし上部等、日常清掃で取りきれない汚れを計画的に順次実施する。

（３）塵芥収集運搬及び地下塵芥庫等の維持管理

月曜日から土曜日において、原則、午前中１回、午後１回の収集運搬を実施するものとするが、現場の状況により適宜行うこと。なお、収集運搬時間は、発注者との協議による。

3 感染症対応区域

病院内の感染症対応区域を対象とする日常及び定期清掃を主な業務とし、施設の維持保存と損耗の防止、微生物による汚染、拡散の防止等を適合した技術によって処理し、常に良好な環境衛生の維持と美観を保持するとともに、院内感染の防止に努めること。

作業内容は前述の1、2と同様とし、病室内の環境衛生の維持と美観を保持することを目的とする。作業時は監督員及び感染対策室の指示に従い、防護服等は発注者が支給する。